



宮下しょうじ応援団 発行

みやした 宮下しょうじ 応援団ニュース

第11号

ふるさとを愛し ふるさとに恩返し

私を育ててくれた 母なる大河 千曲川に恩返し!

① 清流千曲川洗濯大作戦を進める会

◎**台風19号災害に覆われた河川敷の清掃活動を提案し…実施されました。**

令和元年10月…台風の影響により千曲川はゴミの山と化す。

令和元年12月…千曲川の惨状を憂い、沓掛勝也氏と宮下修身氏から「どうにかしたい」と相談。

令和2年2月5日…清流千曲川洗濯大作戦発起人会を開催。

令和2年2月23日…「清流千曲川洗濯大作戦を進める会」に61団体100人が参加してスタート。

令和2年3月・4月…コロナ禍の影響で一斉活動(千人)は中止。

令和3年3月まで…大屋橋から下塩尻まで漁協、自治会、諸団体、上田西高運動部、ボランティア等大勢の皆さんの協力により終了。(会長は土屋陽一上田市長)

◆中村彰氏(大手町)…「大人が千曲川のゴミを見て見ぬ振りをするのは、子供達に絶対に見せてはならない。そのため全面的に協力しました。」

② 千曲川の恵みを取り戻す会

◎**平成30年8月26日の信毎朝刊「外来魚コクチバス越冬場所か…特定なら一気に駆除も」の記事を見て、子供の頃の鮎やハヤのいる川を取り戻したいとの思いからチャレンジしています。**

平成31年4月…上田市議会内水面部会(宮下部会長)が、第1回千曲川の恵みを取り戻す講演会を開催。(講師:中村浩志信大名誉教授)



ホームランで貢献

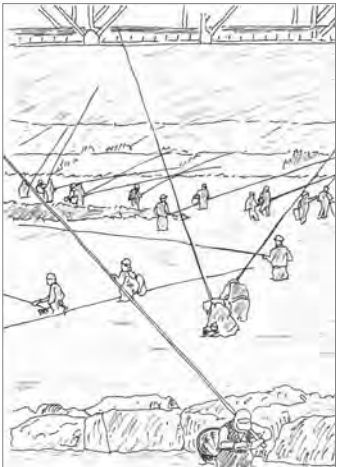
令和2年2月…第2回千曲川の恵みを取り戻す講演会を開催。(講師:中村浩志信大名誉教授)

令和3年4月…千曲川の恵みを取り戻す準備会を開催。(2市1町、2漁協等)

令和4年1月…千曲川の恵みを取り戻す会発足。(3市1町、2漁協等)…オンラインで開催。(会長は土屋陽一上田市長)

※今後、鮎・ハヤ等を食する外来魚のコクチバスの産卵床の破壊活動や、コクチバスに発信機を取り付けて越冬場所を調査し、駆除等を行う予定。

◆中村浩志信大名誉教授…「戦後まもなく坂城町で生まれ、千曲川で遊んで育った私は宮下議員と共にこの事態を憂慮し、かつての豊かな千曲川を取り戻そうと意気投合しました。以来3年間、宮下議員の情熱と行動力により、『千曲川の恵みを取り戻す会』を発足させることができました。宮下議員のご努力に感謝すると共に、この地域が一層活性化することを願っております。」



鉄橋の下は釣り人で大賑わい。平成22年頃。イラスト・照井正夫

③ 千曲川諏訪形堤防復旧工事に伴う説明会の開催

高田屋旅館前の堤防崩落に伴う復旧工事の地元説明会を要望し、上田駅前パレオで開催。

(他の地域で見られる皆さんの復旧工事を防止するため、地元の皆さんの危機意識を国に直接伝えて確実な工事が完成しました。)

④ 千曲川河川敷グラウンドの復旧

◎**明るい笑顔と歓声がこだまするスポーツ活動拠点の早期復旧を要望しました。**

千曲川諏訪形堤防復旧工事終了後、諏

訪形グラウンドでは復旧に着手、本年4月上旬使用に向けて整備が行われます。

◆猪飼憲二氏(北天神町)…「健康で楽しいスポーツの整備にもご理解を頂き感謝しています。」

東山に恩返し!

① 薪を取りに行った東山の森林を元気にする為の間伐を進めています

平成26年・27年…長野県の森林税を活用した山林の間伐(4.6ha)を行う。

平成28年・29年…長野県の森林税を活用した山林の間伐(3ha)を行う。

平成28年7月…諏訪形迷惑樹木等伐採の会を設置(会長 宮下省二)

平成30年…現在…山林所有者の了解を得て、東山の間伐を行う。(4ha)

◆山崎幸氏(小牧)…「間伐材の薪をストーブに利用させて頂いているので助かります。」

② 太陽光発電設備から東山を守る!

土砂崩落の無い安全で安心な生活を守るため大阪の事業主側と地元説明会で熱く議論を展開。(内容は第10号に掲載のため省略)

農地に恩返し!

① 諏訪形8家庭菜園事業を実施

遊休地等を活用した8坪程度の家庭菜園を募集して、安全な野菜等の栽培活動を行う。

② 城下小学校児童農園に協力

5年生児童の稲作体験の田植え・稲刈り・収穫祭等の学校行事に参加、協力する。

◆内山保男元農業委員(御所)…「ご無理を言ってお願いましたが、児童に農耕民族の体験を伝える為と快く引き受けて頂き感謝しています。」



城下小学校5年生児童の稲作体験の田植え風景(コロナ感染対策の為、クラスごとに交代で行い、さらに間隔をあけ実施しました。)

道路・河川に恩返し!

① 子供達を守るため道路沿いの危険家屋の撤去

市に対し危険家屋の撤去に伴う補助制度の導入を提案しました。

市では補助制度をスタートさせ、中村自治会内の危険家屋の撤去が昨年末に実施されました。

◆柳澤登美男氏(中村)…「今にでもすぐに倒壊してしまいそうな危険な家屋の撤去について、市と辛抱強く交渉して頂き、事故が起きる前に撤去されてよかった。」

② 救急車が通行できない狭隘道路の整備活動

市では予算の関係で道路沿いの農業用倉庫の撤去はできないため、道路拡幅は難しいとの見解。行政任せでなく分担して進める活動を提案し、建物解体撤去は地元ボランティアで実施しました。

◆木内一夫氏(諏訪形)…「不可能と思われたが、宮下市議のご尽力により、大勢のお手伝いを頂いて無事解体撤去ができて良かった。」(新年度において道路拡幅が行われる予定)



道路沿いの農業用倉庫の撤去作業

③ 河川氾濫を防ぐ調整池の設置

台風等により床下浸水等の災害が発生しない防災に強いまちづくりを進めます。

令和3年度は金窓寺川調整池の工事が行われ、今後、中村・御所調整池が予定されています。

須川湖に恩返し!

① 須川湖堤体護岸工補強工事の実施

地震による決壊の無い安全な生活を守る活動。

平成23年度…東日本大震災で溜め池が決壊したため、須川湖の耐震化の要望活動を行う。

平成25年度…ボーリング調査の実施。

平成26年度…須川で地元説明会の開催。

平成27年度…工事設計業務委託の実施。

平成28年度…護岸補強工事の実施。

平成29年度…フェンス設置工事の実施。

◆手塚公太氏(須川)…「以前には地元の今井議員にご協力頂いて補強工事が行われたが、今回は市内で最初の耐震補強工事が宮下議員のご協力を頂いて実施されて良かった。」



「4番 キャッチャー 宮下しょうじ 背番号？」

球友応援団 久保田 賢一

4年前の市議選、宮下さんの選挙ポスターは、ミットを構えた捕手デザインでした。

私は、それを見た瞬間「これほどのを射た【図柄】はない」と思いました。今、私の手元に「市議会だより」8年分があり、宮下市議の主旨と答弁を読むことが出来ます。その全てが、超党派、超地区であり、近隣市町村も共有する「市民が持つ疑問、人々や行政が抱えている課題への声を【捕】らえて【手】、キャッチングしサインを市政に出して、好ゲーム(姿勢・市政)を【追求(球)】しています。

上田の声を聴き、キャッチャーマスク越しに新旧上田地域を見つめ、自身のスパイクでホームベース後ろに構え、投手・打者・内野陣を見つめ、球審(市民の目)とも「勝負」して来ました。人口15万人の観衆が2期、ダブルヘッダーを観戦。

いよいよ第3試合。市議に序列なけれど、今春のポスター、「ホームランで貢献」は「4番 宮下しょうじの使命」「背番号?」○番、を贈るのは応援団の熱き拍手・声なき声の使命」、そして「♪宮下打たなきゃ誰が打つ♪」宮下しょうじ応援団の応援歌の使命です。

宮下さんは議会における幾つかの提案型の質問で、市政へのやる気と方向性を持たせてくれています。

更に、そのことは上田市民に^{あま}遍く勇氣を持たせてくれるものです。

私は常々、議会にはそのような体力と熱意あふれる人材がなくてはならないと思っています。宮下さんの今後の活躍を祈らずにはいられません。



空き家の迷惑ごみの撤去について

諏訪形自治会 細川 信

昨年、宮下市議にお会いした際、たまたま近隣空き家の樹木繁茂、大量の放置ゴミの話になり、市議は早速、状況を確認し、改善を検討してくださいました。

宮下市議には、片づけに際し、地元のみちづくり協議会メンバーの招集やボランティアの募集、上田市へのゴミ袋や片づけの手配及び相続人代表への連絡をしていただき、非常にスムーズに環境改善が図られました。

このように、空き家、ゴミ屋敷、相続人問題など、地域の抱える社会問題を、真剣に取り組んでいただき感謝致します。

そして、宮下市議が尽力し立ち上げた「まちづくり協議会」は、行政に頼るだけではない「地域でできることは地域で」の考えのもと地元住民が迅速に地元の環境を改善するための組織で、今回、この組織の力を痛感し、これから大いに活動していただくことを期待します。

尚、近隣空き家の環境改善の件につきましては、この場を借り改めて御礼申し上げます。



宮下市議のご尽力のお陰で片付けがスムーズにできました。

しょうじ議員の発想力企画力 実現力のすばらしさ

下之条自治会応援団 宮下 順一

私と、しょうじ議員との付き合いは、高校の同級生時代から始まり、上田市の職員同士として、更に退職後も自治会活動で交流し、50年以上になります。

いつも思うのは、彼は発想力が素晴らしいという事です。ここまでは普通の人でもできるのですが、彼はその発想を企画し実現させてしまう事です。

今や、上田市の定番になっている「上田古戦場ハーフラソン」やお茶の間を沸かせたNHK大河ドラマ「真田丸」放送の実現、真田神社の幸村像の建立等挙げたらきりがありません。

そんな彼の発想が多くの観光客を上田に呼び上田地域の発展に繋げました。

しかし、彼はそんなことを自慢するでもなく淡々と上田市の為に議員活動を続けています。

そんな、しょうじ議員を私は応援し、今後の議会での活躍を期待しています。

宮下議員の的確なアドバイスに守られて

岩下元自治会長 細井 武夫

私は岩下地区に住む者として、千曲川、依田川、神川そして瀬沢川の四つの川の影響を受けるこの地区の水害に以前より苦慮しておりました。

令和元年私は、自治会長として、まずこの水害対策に向き合いました。そこで、防災に精通している宮下議員に講演をお願いし、防災特に水害対策における指導やアドバイスを頂きました。

自治会員の脳裏に焼き付いていた講演内容の通り、1カ月後の台風19号では、大きな被害もなく皆が迅速に避難をしてくれました。

宮下議員には、これからも諏訪形地区の自主避難計画等の先進的な取り組みを教えてくださいと思っています。

宮下議員は上田市にとってもまた、地域にとっても大事な方です。ご健勝をお祈り致します。

諏訪形に来て 学んだ事

諏訪形自治会 玉木 晶子

終の棲家を諏訪形に決め、同時に自治会に加入して、今年で6年目です。

地域を知るために回覧板、広報うえだ、城南公民館だより等から各種の講座を受講し、より深く知りたいという興味を継続している中で「しょうじ議員」の活動が目に残りました。

令和元年の台風19号の強風豪雨はすさまじく、以前、市のバスで見学した時に空っぽに近かった菅平ダムの水が緊急放流されたという上田市からのメールを見て自主避難を判断。公民館で自治会役員の皆様が金窓寺川の氾濫対策で、近隣の方々共に緊迫した状況で奔走しているのを目撃しました。

その時「須川湖」は今のところ大丈夫だ、とずぶ濡れで入って来たのは「しょうじ議員」でした。補強工事済みの須川湖の現状確認に行ってきたとのことでした。

強い責任感と、ギリギリの自己犠牲の心で、地域住民を守るため戦っている。私は公民館の暖かい室内で胸を熱くし、涙しました。

現在、「しょうじ議員」が尽力された、金窓寺川調整池工事が進み、地域の安全、安心が期待されています。

宮下しょうじ議員には、培われた知識経験を生かして、これからも上田市をけん引していただける事を切望しています。



令和元年10月に金窓寺川氾濫をもたらした台風19号。道路に水が押し寄せ濁流となって、家屋10数件が床下浸水しました。

「省ちゃん」といい水 シンポジウム

おいしい水を広める市民の会 大崎 安雄

安全・安心・おいしい「水道水」。かねがね持論としていた省ちゃんの問題提起から始まった公民館事業「いい水シンポジウム」。

令和2年2月から始まり、令和3年10月迄の1年8カ月にわたり合計7回行われ、延べ388人が参加しました。私たちの生活に欠かす事のできない水道水の現状と今後の活動について、多くのことを学びました。

基調講演は、水道水のろ過技術研究の第一人者であり、NPO地域水道支援センター理事の中本信忠信州大学名誉教授(中村自治会)が行い、世界と日本の水道水について、また、緩速ろ過と急速ろ過の相違について、更には今後の水道事業の在り方について分かり易くご説明を頂きました。内容は次の通りです。

- 第1回：日本の水道水は、なぜ美味しいのか
- 第2回：おいしい水を求めて
- 第3回：市内浄水場の視察(染屋・諏訪形)
- 第4回：先進地の浄水場視察(高崎市若田)
- 第5回：我が国の水需要の減少と地域課題
- 第6回：水道事業を取り巻く現状と広域連携
- 第7回：100年後の水を守る

こうした活動に呼応するかの様に県企業局では、昨年7月、上田長野地域水道事業広域化研究会(県企業局、上田市、坂城町、千曲市、長野市)を発足し、企業局と4自治体との水道事業統合の検討を始めました。地域の課題をテーマにして市民参加で学び、そして方向性を共に考える手法に「省ちゃん」の地道で真摯な存在が大きいと感じました。



諏訪形地区にある県浄水場。手前は、ろ過に活性炭を使用し取り除いた不純物(泥水)を天日で乾燥させる「天日乾燥池」です。